

校長通信「学ばん共に」

新学期

その6 「いずれも見事」(2学期始業式 校長式辞)



8月31日 2学期始業式 体育館にて

▶「2学期を迎えて」のスピーチを発表した、学年代表の皆さん。太田さん、高野さん、能勢君、そして天城君…ありがとうございました。どの発表も意欲を感じる新学期始めにふさわしい内容でした。よい刺激をもらいました。

▶今回も、1学期末と同じように多くの表彰を行いました。特に、この夏は、団体戦で県に進んだ剣道女子が県ベスト8、サッカーが県ベスト16、さらに個人戦は東海大会出場が陸上2名・柔道1名・剣道1名・水泳1名の計5名、そして、柔道の大城君は全国大会に出場して初戦突破を果たすという快挙を成し遂げました。素晴らしいです。また、地区大会で敗れた中にも、可美中魂を感じる熱い戦いや取組がたくさんありました。部活動以外でもサマーフェスタや保育ボランティアなどの地域貢献に多くの生徒が参加したと聞いています。校長として、大変誇らしく思います。いずれも見事でした。

▶1学期末、「求めて学ぶ夏」「継続は力なり」という言葉を掲げ、よい夏休みにしようと話しました。みなさんどうでしたか。40日間という休みを振り返って、「思った以上にがんばれたなあ」という人がきついていることでしょうか。その充実感強いバネになります。次の目標に向け、さらなる成長をめざしてください。「思うようにできなかったなあ」という人も中にはいることでしょうか。その人は気持ちを切り替えて、また今日から新たなチャレンジを初めてください。それができる学校こそ、「希望輝く 可美の学舎」です。

▶1年生にとって、この夏休みは今までに体験したことのないものだったかもしれません。小学校に比べたら宿題も多く、苦戦した人もいることでしょう。また、部活が夏休みから本格的な練習になり、毎日クタクタになった人もいることでしょう。でも、暑さに負けず、部活に通い続けたこの数週間で、記録が伸びたり、入らなかったシュートが決まったり、うまく出せなかった音が出せるようになったり…**自分の成長を実感**している人も、きっといると思います。それはとても素晴らしいことです。**さらなる飛躍に期待**しています。

▶2年生の2学期はやる気・本気・根気…そう、**心を磨く**、つまり**人としての幹を太くする大切な期間**です。中学校のど真ん中です。この期間にどれだけ前向きに学校生活をおくれるかどうか、そこに大きな成長につながるきっかけがあります。「行事に燃える」「部活に熱中する」「授業・テストに真剣に取り組む」等、**自分の可能性を信じて、積極的に学校生活を送り**ましょう。



▶そして、3年生。2学期に予定されている**行事の主役は、もちろん3年生**です。互いに切磋琢磨し、下級生を圧倒する力を見せつけてください。夏の大会で見た気迫や情熱、そして、集中力を思う存分発揮してほしいと思います。また、受検生として、この夏をどう過ごしてきたか。その結果の一部は来週の火曜日に行われる県学力調査にも表れます。もし思うような結果が出なくても前を向き地道な取り組みを続けてください。**受検は短距離走ではありません。半年以上走り続ける持久走**です。行事に勉強に懸命に取り組む可美中3年生を先生方はこれからも全力で応援します。



▶まだまだ、暑い日が続きます。暑さに負けず、充実した2学期になるよう、1日1日を大切にしていきましょう。以上を、2学期始業式の話とします。最後まで聞いてくださり、ありがとうございました。

(北村健治)